

JLCC 授業シラバス

講義コード	JL102
講義科目名	日本の文学
開講年度	2019
開講学期	後期
曜日時限	火曜 5 限
必修選択	選択
単位数	2 単位
担当教員	斉藤 信浩
使用言語	日本語
教室	センター 5 号館 5701
授業概要・目標	英語を勉強しているならシェイクスピア、ロシア語を勉強しているならドストエフスキーの作品を1つくらいは読んで欲しい、では、日本語を勉強しているなら？この授業は実際の文章や映像資料等を見ながら、日本人なら誰でも知っている小説や詩、国語教科書の作品などを紹介し、その内容について議論をしながら、作品を味わって行きます。単語や文法などの訓練は一切行わない、日本語で学ぶ日本文学の授業です。半期の授業終了後には、日本の基本的な文学の知識がつくでしょう。
授業形態	講義形式で授業を行う。日本語で日本文学の講義を聞くのは大変かもしれないが、ppt やプリントなど、可能な限り、平易な日本語で進めるようにする。
履修に関わる注意事項	1. 事前に文学作品を読んでくるように指示をすることがある。 2. 日本語学習の授業ではないので、語彙や文法が分からなくても、大まかなストーリーや内容を理解するようにしてほしい。
授業計画	第1週 短編小説を読む1 芥川龍之介『蜘蛛の糸』 第2週 短編小説を読む2 葉山嘉樹『セメント樽の中の手紙』 第3週 短編小説を読む3 太宰治1『人間失格』DVD 第4週 短編小説を読む4 太宰治2『走れメロス』 (1回目レポート：芥川龍之介『鼻』の感想文) 第5週 児童文学を読む1 宮沢賢治1『注文の多い料理店』 第6週 児童文学を読む2 宮沢賢治2『よだかの星』 第7週 児童文学を読む3 黒柳徹子『窓際のトットちゃん』 第8週 村上春樹1「エルサレムのスピーチ」 第9週 村上春樹2『女のいない男たち』 第10週 村上春樹3『パン屋襲撃』『100%の女の子』DVD

	<p>第11週 三島由紀夫1 「ヨイトマケの唄」</p> <p>第12週 三島由紀夫2 三島事件（割腹余話）、『憂国』 （2回目レポート：三島由紀夫『憂国』の感想文）</p> <p>第13週 森鷗外1 『高瀬舟』</p> <p>第14週 森鷗外2 『舞姫』 「森鷗外と夏目漱石」</p> <p>第15週 夏目漱石</p>
テキスト	プリント等を配布する
参考書	
成績評価	授業参加 20%, レポート 50%, クラス活動 30%
学習相談	質問があれば、遠慮なく研究室に来てください
その他 (自由記述欄)	